

営業案内



所在地 大吉272番地1
営業時間 午前9時～午後4時
 (入園は午後3時30分まで)
休園日 毎週月曜日・年末年始(12月29日～1月3日)
 休園(月曜日が祝日の場合はその翌日が休園)
入園料 大人(高校生以上)100円
 小人(小・中学生)30円
 未就学児(保護者同伴)無料
 *障害者手帳等をお持ちの方は割引あり
電話番号 979-0100
野鳥の森ホームページ
<http://yacho-nomori.kosi-kanri.com/>

アクセス 駐車場40台あり
 公共交通機関でお越しの方は、
 北越谷駅東口から朝日バスまたは茨急バスで
 「小田急弥栄団地入口」で下車徒歩5分



オーストラリアの鳥たちが自由に飛び交う場所

キャンベルタウン野鳥の森

まもなく

開園20周年



来園記念におひとついかが？

鳥たちのグッズを販売中

キャンベルタウン野鳥の森でしか買うことができないオリジナルグッズも多数販売しています。

- ▷カンバッジ (7種) … 1個100円
- ▷ストラップ (3種) … 1個300円
- ▷ぬいぐるみ (3種) … 1個500円
- ▷リール付きパスケース … 1個800円



飼育係しか知らない、鳥たちの面白い話が聞けるかも？

ふれあいコーナー

(毎週土曜・日曜日、祝日)
 モルモットと直接触れ合おう！



モルモットたちが一列になって橋を渡る姿が大人気

ぬりえコーナー

(毎週土曜日)
 鳥たちのぬり絵を楽しめます。有料で、出来上がったぬり絵をカンバッジにして持ち帰ることもできます。

野鳥の森の生き物たちがもつと身近に！ 野鳥の森のイベント

(各イベントは開催する曜日が変わることがあります。詳しくは野鳥の森へお問い合わせください)

野鳥の森ガイド

(毎週日曜日、祝日)
 野鳥の森の飼育係が、園内の鳥たちをわかりやすく解説します。

とができます。日曜日にはモルモットウォークも開催しています。

飼育を体験してみよう 一日飼育係募集



鳥やワラビーたちとエサやりなどで触れ合えます

日時 7月28日(火)～8月7日(金)、午前9時～午後3時(月曜日を除く平日)
対象 小学5・6年生32人
費用 無料
申込み 7月1日(水)～12日(日)に電話または直接左記へ
問合せ 野鳥の森
 ☎979-0100

越谷市と キャンベルタウン市の つながり

市では、かねてから南半球で越谷市と同じような位置にある都市との交流を考えていました。そこで、昭和56年にオーストラリアの政府機関である豪日交流基金に都市交流を申し入れたところ、同基金からキャンベルタウン市を紹介されたことがきっかけとなりました。

その後、両市の市長が互いの市を訪問するなどにより親交が深まり、昭和59年に姉妹都市提携を結びました。昨年8月には姉妹都市提携30周年を記念し、野鳥の森で記念碑の除幕式と記念樹の植樹式が行われました。



両市長が野鳥の森で植樹を行いました

市内大吉にあるキャンベルタウン野鳥の森は、オーストラリア・キャンベルタウン市との姉妹都市交流10周年を記念して平成7年9月に開設され、今年開園20周年を迎えます。園内にはキャンベルタウン市から寄贈されたオーストラリアを原産とする生き物を中心に、25種500羽(頭)を超える鳥や動物がいます。野鳥の森の総面積は約5350平方メートル、メインとなるバードケージは約3000平方メートルあり、ケージの中には多くの鳥たちが自由に飛び回っています。日本ではとても珍しい鳥も見られるので、休日になると家族連れや大きなカメラを持った写真愛好家の方などにぎわいます。

市内には、ほかにも鷺高第五公園に「キャンベルタウン公園」という愛称がつけられた塔やユーカリの木があります。また、キャンベルタウン市の中心に「シガヤパーク」と名づけられた公園が整備され、お互いの都市への理解を深める一助となっています。



キンカチョウ

日本でも明治時代から飼われている鳥。園内を流れているせせらぎで、時々水浴びをしている。



オーストラリアイシドリ

園内の日当たりの良い場所に群れていることが多い。よく園内を歩き回っているので、お散歩中の姿を見られるかも。



「ガーヤちゃんARマーク」のある写真は、スマートフォン用アプリ「Aurasma (オーラズマ)」を使うと映像を見ることができます。鳥たちが動く様子をぜひ見てみてください。



ARの使い方はこちらから (市ホームページ)



アカビタイムジオウム

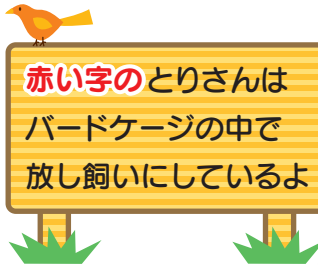
オーストラリアであいさつを覚えてきたオウム。「ハロー」と呼びかけてみると…?

園内には珍しい鳥や動物たちがたくさん！
がんばって探してみよう



頭上を見上げてみると…

鳥たちが自由に飛び交う様子が見られるのも、野鳥の森の魅力のひとつ。

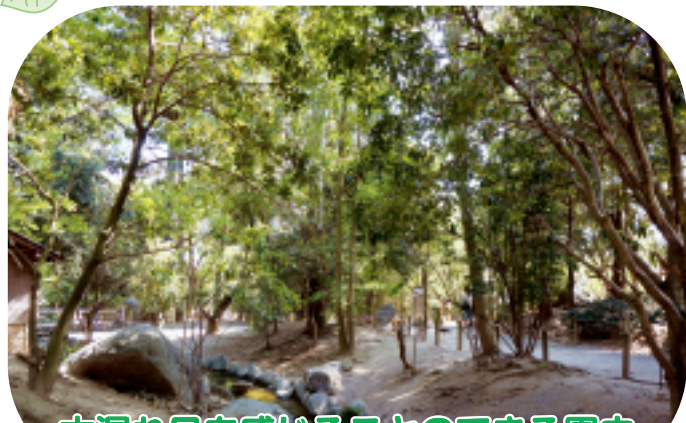


赤い字のとりさんは
バードケージの中で
放し飼いにしているよ



キンショウジョウインコ

真っ赤な頭と緑色の体が特徴的な鳥。野鳥の森のキンショウジョウインコはとても人に慣れているので、園内を散策していると向こうから寄って来ることも。



木漏れ目を感じることのできる園内

園内にはオーストラリアを代表するユーカリの木などが植えられているほか、滝やせせらぎなどもあり、鳥たちがすみやすい環境になっている。



オカメインコ

頬の橙色が「おかめ」に見えることからオカメインコの名が付いた。木の枝に止まっていたり、巣箱に出たり入ったりと、園内のあちこちで姿を見られる。

ワラビー

エミュー



ワラビーとエミュー

オーストラリアを代表する動物であるワラビー(左)とエミュー(右)。ダチョウに似ているエミューは、オーストラリアの国鳥としても知られている。

シラコバトの飼育

シラコバトは「越ヶ谷のシラコバト」として国の天然記念物に指定され、越谷市の鳥や埼玉県民の鳥として長く親しまれています。しかし、周辺環境の変化などによって生息数が激減し、今ではほとんど見る事ができなくなっています。市ではシラコバトの保護のため、埼玉県と連携して繁殖の取り組みを進めてきました。数々の試行錯誤を重ねた結果、



昨年10月に、野鳥の森で初となるシラコバトのひなが誕生しました。また、今年3月にも新たに1羽の繁殖に成功し、今では仲間たちと一緒に元気に生活しています。



キャンベルタウン野鳥の森飼育係 原 慎司さん

今年で開園20周年を迎える当園は、大きなバードケージの中でオーストラリア原産の希少な鳥類を多く見ることが出来る施設です。私のオススメは、受付の前にいる当園の「看板鳥(?)」オーストラリアガマグチヨタカです。この鳥は樹木のまね(擬態)をしてじっと動かなくなるという特徴があり、居ても気づかれずに前を素通りされたり、作り物に間違えられたりしている面白い鳥です。鳥たちは種類ごとにいろんな個性を持っていて、見ていて飽きません。このページでご紹介した鳥は、そのほんの一部です。日曜日と祝日には私たち職員がガイドをしていますので、より楽しんでいただけると思います。皆さんのご来園を心よりお待ちしております。